



2020年8月6日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号：4570)
本店所在地	群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者	代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先	取締役事業グループ管理本部長 中 川 正 人
電 話 番 号	0274-22-2889 (代表)
U R L	https://www.ibl-japan.co.jp

2021年3月期通期連結業績予想及び 中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、2020年5月14日に公表した「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想について決議いたしました。また、2019年5月14日に公表した中期経営計画(2020年3月期～2022年3月期)を修正し、新中期経営計画(2021年3月期～2023年3月期)を策定いたしましたのでお知らせ致します。

なお、本2021年3月期通期連結業績予想及び中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

1. 2021年3月期の連結業績予想

2. 新中期経営計画(連結)

2021年3月期(39期)～2023年3月期(41期)

(3カ年計画)

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図る

1. 2021年3月期の連結業績予想

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図る

セグメント別 売上数値目標

(百万円)	38期 (実績)	39期 (予想)	増減	増減理由
診断・ 試薬事業	471	400	△71	<ul style="list-style-type: none"> ・39期において、売上の半分以上を占めるELISAキット・抗体の第1Qの売上高は、前年比約30%減、第2Qから、回復基調の兆しはあるものの通常に戻るのには、40期以降と予想。 ・受託サービス及び医薬品関連の売上高は、第1Qにおいて影響がなかったため、前期並みを予想。
遺伝子組換え カイコ事業	25	29	+4	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高は、特定の取引先へ販売しており、新型コロナウイルス感染症の影響はないものと予想。 ・抗HIV抗体の開発については、本日発表の「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」を参照。
検査事業	71	90	+19	<ul style="list-style-type: none"> ・主力製品の「Lipo SEARCH」の売上高は、第1Qにおいては、前年比約35%減となり新型コロナウイルス感染症の影響は大きいものと予想しているが、大型受注を獲得し、前年並みを予想 ・新規の臨床検査事業については、大手検査事業会社と受注契約を締結し、売上に寄与するものと予想
化粧品 関連事業	12	30	+18	<ul style="list-style-type: none"> ・国内通信販売については、新型コロナウイルス感染症の影響は、ないものと予想 ・前期末において保守的に評価損を計上した中国向け製品について、国内販売を予定。

数値目標 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	一株当たり 当期純利益
今回予想(A)	549	△308	△410	△430	△46円16銭
前期実績(B) (2020年3月期)	576	△595	△678	△668	△76円00銭
増減額(A-B)	△27	287	268	238	—

・第1Qにおける当社グループの販売活動や売上高の状況、また、販売先からの情報等から新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して、2021年3月期の連結業績予想を算出しております。(現時点における国内外の状況が前提)

・利益については、今期において大型の設備投資の予定がないことや遺伝子組換えカイコ事業の研究開発費の見直し等により、前期に比べ改善する見込みです。

(注) 当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

2. 新中期経営計画(連結)

2021年3月期(39期)～2023年3月期(41期)

(3カ年計画)

事業環境の変化に迅速に対応し、よりスピーディーな意思決定を図る

経営目標 (2021年3月期(39期)～2023年3月期(41期))

2022年3月期《連結営業利益》
黒字化を目指す

抗HIV抗体の製造方法
の変更を決断！

➡大幅なコスト削減

本日発表「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」を参照

- ・化粧品(フレヴァン)の
中国・欧州販売本格化
- ・ネオシルク®・ヒト型コラーゲン
type I 拡販 type III 販売開始

体外診断用医薬品(原料含む)の上市8品目以上

新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化

抗HIV抗体の製造方法の変更を決断！

変更により予想されるメリットとデメリット

変更によるメリット	① 研究開発コストを大幅に低減できる
	② 製造工場建設の必要がない
	③ 承認ハードルが下がり導出交渉がやりやすくなる
	④ 世界展開がしやすくなり、導出契約一時金・マイルストーン収入・ロイヤリティー収入が増大する
変更によるデメリット	① 導出契約一時金等の獲得が遅滞する
	② 原薬の製造販売利益を喪失する

将来の事業リスク及び財務リスクを回避し、現時点における抗HIV抗体の事業価値最大化を追求

⇒今回の変更には、デメリットを打ち消してなお余りある大きなメリットがあると確信

本日発表「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金用途変更に関するお知らせ」を参照

数値目標 2021年3月期《39期》～2023年3月期《41期》

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	注1 576,692	549,000	836,000	1,10,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	注4 140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	注2 △595,359	△308,000	黒字化 10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	黒字化 0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	注3 △410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む

注2 調整額 960千円含む

注3 持分法による投資損失を含む

注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

診断・試薬事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,110,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	29,249	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
注2 調整額 960千円含む
注3 持分法による投資損失を含む
注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

第39期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測

- ・国内・緩やかな回復基調(来期より前年並み)
 - ・海外・回復基調が顕著(第4Qより前年並み)
- (キット・抗体)
- ・第1Q実績、第2Q予測→30%減程度
 - ・第3Q・4Q予測→25%~20%減(事業活動回復)
- (受託)前年並みを予測
- (医薬品関連)BSEキット 受注増加予定
- ・海外バーチャル展示会へ出展
 - ・体外診断用医薬品の研究開発に注力

第40期~第41期

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化
 - ・体外診断用医薬品上市予定(診断薬原料供給含む)
- ⇒目標:8品目以上を目指す

設備投資

- ・体外診断用医薬品開発費用(数千万円)
- ・大きな設備投資(固定資産)については、前期までに終了

遺伝子組換えカイコ事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,100,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,221	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
 注2 調整額 960千円含む
 注3 持分法による投資損失を含む
 注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

第39期～41期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測

特定の取引先のため影響は軽微と予測

・非特異反応が低いことや動物愛護の問題等により、数年前から大手診断薬メーカーで使用する診断薬原料として採用

⇒現状数千万円

⇒今後は製造数の増加が予定されており、数年内で数億円の受注見込み。

・化粧品原料「ネオシルク®・ヒト型コラーゲン」については、中国や欧州での販売増が見込まれる。

・グループ内の営業ソースを活用し、受託を積極的に受注開始

⇒新規製品の確立

41期不採算部門の脱却

コストの最適化・資産の有効活用

上記の数値には、契約一時金・マイルストーン・ロイヤリティー収入等は、含まれておりません

本日発表の「抗HIV抗体の製造方法の変更および資金使途変更に関するお知らせ」参照

検査事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,10,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
 注2 調整額 960千円含む
 注3 持分法による投資損失を含む
 注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

製造コスト・販管費

コスト低減の徹底
⇒利益体質への転換

グループ全体で効率化を
推進

第39期

※新型コロナウイルス感染症の影響予測

- ・第1Qにおいて、前年比35%超の落ち込み
- ・今後は、緩やかに回復基調が見込まれるものの本格回復は、来期以降と予想

(LipoSEARCH)

- ・大型案件受注獲得

⇒今期は前年並みの売上確保

(臨床検査)

- ・大手検査センターと契約を締結

⇒新規サービスにより売上増

第40期～第41期

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化

⇒海外導出を目指す

⇒自由診療に注力

化粧品関連事業

(千円)	38期※参考 (連結実績)	39期 (業績予想)	40期 (中期計画)	41期 (中期計画)
売上高	576,692	549,000	836,000	1,100,000
診断・試薬事業	471,203	400,000	500,000	600,000
遺伝子組換えカイコ事業	25,245	29,000	100,000	140,000
検査事業	71,636	90,000	136,000	160,000
化粧品関連事業	12,873	30,000	100,000	200,000
営業利益(△損失)	△595,359	△308,000	10,000	178,000
診断・試薬事業	△124,457	△60,000	35,000	78,000
遺伝子組換えカイコ事業	△391,891	△221,000	△70,000	0
検査事業	△26,227	△16,000	25,000	40,000
化粧品関連事業	△53,741	△11,000	20,000	60,000
経常利益(△損失)	△678,762	△410,000		
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△668,125	△430,000		

注1 調整額△4,266千円含む
 注2 調整額 960千円含む
 注3 持分法による投資損失を含む
 注4 抗HIV抗体の導出による収益は含まれていない

ヒト型コラーゲンⅢ

- ・2021年3月期中に販売を開始予定
- ⇒高級化粧品(TypeⅢ配合化粧品)開発

中国市場

- ・新規商標登録完了 「mojuin(モアジュアン)」「hfraisun(フレサン)」「freakun(フレクン)」
- ⇒40期、新規商標で販売開始
- ※アルファベット名「frais vent」商標問題
- ⇒2021年3月期3Q中に、結審予定

欧州市場

- ・「frais vent」の販売許可取得(EU規制に準じる東南アジアへも販売可能)
- ⇒通信販売サイト完成(欧州での販売が開始予定)
- ・Giuliani S.p.A社(1889年創業の老舗イタリア製薬企業)は、当社の開発したネオシルク®ーヒト型コラーゲンⅠを配合した注射医療器具をイタリア製薬ベンチャー企業303 Pharma S.R.L.社と共同開発し、クラス3(93/42/EEC/CE認証)として登録を完了
- ⇒Giuliani S.p.A社により製造・販売予定



本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品申請の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。